

平成29年度第1回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 要旨

- 1 開催日時 平成30年2月7日（水）午後2時00分から午後3時45分
- 2 開催場所 岩手県自治会館 4階第5会議室
- 3 出席委員 瀬川委員、村松委員、佐藤[洋]委員、佐藤[益]委員、小野寺委員、菅原委員、千葉委員代理、大黒委員、押切委員、細江委員、藤原委員代理
- 4 傍聴者 4名

5 会議の概要

(1) 報告・協議

次の事項について、事務局から報告及び協議した。

- ア 後期高齢者医療制度の動向について
- イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について
- ウ 平成30年度及び平成31年度の後期高齢者医療保険料率(案)について
- エ 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）(案)について

(2) 主な意見等

- ア 後期高齢者医療制度の動向について
- イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について

【委員】

低栄養改善訪問指導事業に関して、歯科関係者の間では、最近「オーラルフレイル」という言葉が使われている。病気を患っていないにもかかわらずフレイル状態にある者という認識であるが、フレイル状態の原因が口腔トラブルである例も多い。

今後、対策を進めていくにあたっては、歯科医師会との連携を深めることで効果もより高まると考えられるので、関わりをさらに強めてもらうようお願いしたい。

【委員】

健診について、交通弱者である高齢者は、行きたくてもいけないのが実情。医療にかかる以前の部分も含め、被保険者の負担軽減について検討いただきたい。

- ウ 平成30年度及び平成31年度の後期高齢者医療保険料率(案)について

【委員】

保険料上昇抑制等に用いるためとして、国・県・広域連合で積み立てている財政安定化基金について、他都道府県では積立をやめたところも多いが、本県では引き続き積み増しを行っていくこととしている。今回示された保険料率(案)は、依然として全国的にみても低い水準にあ

るが、次々期の保険料率算定においては、財源不足額の見込みを踏まえ、さらに将来負担も見据えて検討いただきたい。

【委員】

現時点では、団塊世代が後期高齢者になる一歩手前といった状況であるが、そうした将来も見据えながら、堅実な財政運営に努められたい。

エ 第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）（案）について

【委員】

近年、認知症に対する社会の関心が高まっているが、今回示された第2期データヘルス計画（案）では、認知症予防対策についての記述が薄いと感じる。推進策として、市町村が実施主体となっていく「長寿・健康増進事業」の補助対象メニューに、本対策も盛り込まれたい。さらには、認知症のほか、生活習慣病についても補助対象とされたい。

【委員】

最近、糖尿病と歯周病との関連が指摘されている。歯科医師会としても、保険者と連携してこの問題への対策を講じていきたいと考えているので、よろしく願います。

【委員】

市町村と連携して、高齢者の健康づくりのための事業を促進していただきたい。

【委員】

保健事業の目指すべき方向は、岩手県で策定した「健康いわて21プラン（第2次）」とも整合性が保たれている。特に、高齢者に関しては、生活機能の維持に関する事項を重点課題と位置付けており、心身機能の低下防止に向けた施策を連携して進めていきたい。